

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月10日

上場会社名 スパークス・グループ株式会社
 コード番号 8739 URL <http://www.sparx.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

上場取引所 JQ

(氏名) 阿部 修平
 (氏名) 深見 正敏

TEL 03-5437-9700

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	6,702	△48.3	△1,040	—	△573	—	△1,152	—
20年3月期第2四半期	12,973	△14.4	1,549	△74.8	1,881	△70.3	113	△96.1

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	△573.93	—	—	—
20年3月期第2四半期	56.81	55.20	—	55.20

当第2四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第2四半期	61,624	42,220	42,220	64.3	19,690.04			
20年3月期	74,056	47,621	47,621	60.1	22,334.66			

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 39,641百万円 20年3月期 44,499百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	0.00	0.00	0.00	1,000.00	1,000.00
21年3月期	0.00	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

現時点では配当予想額は未定であります。(「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄参照)

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

当社グループの主たる事業である投信投資顧問業は、業績が経済情勢や相場環境によって大きな影響を受ける状況にあります。このため、当社グループの業績を予想し開示することは難しいと認識しております。したがって当社は、業績予想の開示に代えて四半期毎の実績開示が有益な情報であると考え、継続して実施しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他を参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 2,075,680株 20年3月期 2,054,840株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 62,427株 20年3月期 62,424株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 2,008,622株 20年3月期第2四半期 1,999,075株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 当社は、上記「3. 平成21年3月期の連結業績予想」に掲げた理由から、配当予想額についての記載をしておりません。配当金額が確定した時点で速やかに開示いたします。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期(6ヶ月)の日本株式市場は下落しました。上半期前半の株式市場は堅調に推移したものの7月以降米国経済の先行きに対する不透明感が強まったこと等から世界的に株価は軟調な展開となりました。日本経済も第2四半期の実質国内総生産(GDP)が前期比でマイナスになる等、日本経済に対する不透明感も強まりました。特に9月に入り米大手証券リーマン・ブラザーズが経営破綻を発表したことや米AIGグループが米政府による緊急融資を受け米政府の管理下に置かれたこと等を受け信用リスクの問題がクローズアップされたこと等から市場は混乱し株式市場も世界的に下落しました。日本株式市場も影響を受け下落し、当上半期の日経平均株価は11,259.86円で取引を終了しました。

当第2四半期(6ヶ月)は、株価指数では、日経平均株価が10.1%の下落、TOPIXは10.4%の下落となりました。セクター別には値上げによる収益改善が期待されたパルプ・紙が上昇率トップになった一方で、バルチック海運指数の下落から収益懸念が嫌気された海運業が下落率トップとなりました。

このような株式市場の状況の下、当社グループの当第2四半期末における運用資産残高は、1兆578億円(前期末比16.4%減、前年同月末比37.6%減)となりました。

運用会社別では、スパークス・アセット・マネジメント株式会社及びSPARX International (Hong Kong) Limited(以下、「スパークス・アセット社」)の運用資産残高が5,643億円(同21.2%減、同47.4%減)、Cosmo Investment Management Co., Ltd.(以下、「コスモ社」)の運用資産残高が2,524億円(同13.8%減、同35.4%減)、PMA Capital Management Limited(以下、「PMA社」)の運用資産残高が2,410億円(同5.9%減、同4.0%増)となりました。

営業収益は、残高報酬が60億96百万円(前年同期比27.7%減)、成功報酬が12億4百万円(同73.0%減)、その他収益が47百万円(同36.4%減)となりました。また、自己資金投資として保有している営業投資有価証券に関し、6億47百万円の評価損を計上いたしました。これらにより総額では67億2百万円(同48.3%減)となりました。

営業費用は、主に支払手数料の減少により11億95百万円(同38.0%減)となりました。一般管理費は、人件費の減少等により65億47百万円(同31.1%減)となりました。

この結果、営業損失は10億40百万円、経常損失は5億73百万円となり、第2四半期純損失は11億52百万円となりました。

項目	当第2四半期		前第2四半期		平成20年3月期	
	金額 (百万円)	構成比(%)	金額 (百万円)	構成比(%)	金額 (百万円)	構成比(%)
残高報酬	6,096	90.9	8,432	65.0	15,745	51.5
成功報酬	1,204	17.9	4,466	34.4	12,897	42.2
営業投資有価証券 評価損益	△647	△9.5	—	—	—	—
その他	47	0.7	74	0.6	1,909	6.3
営業収益合計	6,702	100.0	12,973	100.0	30,552	100.0

・残高報酬

現在の報酬料率を基準に各運用手法の特性に基づき顧客との交渉を行っております。

残高報酬料率(ネット・ベース)の推移は以下のとおりです。

区分	当第2四半期	前第2四半期	平成20年3月期
当社グループ残高報酬料率 (ネット・ベース)	0.84%	0.83%	0.83%

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における資産は、前期末に比べ124億32百万円減少し、616億24百万円となりました。主な要因は、未収投資顧問料が25億25百万円、営業投資有価証券が6億89百万円、未収入金が33億1百万円、のれんが13億40百万円、投資有価証券が36億37百万円減少したこと及び短期貸付金が9億円増加したこと等によるものです。

負債は、前期末に比べ70億32百万円減少し、194億3百万円となりました。主な要因は、短期借入金が23億99百万円、その他未払金が9億73百万円、未払法人税等が27億80百万円、賞与引当金が2億97百万円減少したこと等によるものです。

純資産は、前期末に比べ54億円減少し、422億20百万円となりました。主な要因は、配当19億92百万円を払い出したこと及び当第2四半期に四半期純損失11億52百万円を計上したこと等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの収益の大半は投信投資顧問業に係わる委託者報酬及び投資顧問料収入によって構成されております。通期の見通しにつきましては、当社グループの事業内容が国内外の経済情勢や相場環境によって大きな影響を受ける状況にあることから、業績を予想し開示することは難しいと認識しております。したがって当社は、業績予想の開示に代えて四半期毎の実績開示が有益な情報であると考え、継続しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）、並びに同規則第61条及び第82条の規定に基づき、当社グループの主たる事業である投信投資顧問業を営む会社の連結財務諸表に適用される「金融商品取引業に関する内閣府令」（平成19年総理府令第52号）に準拠して作成しております。

②所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）を当連結会計年度から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。これに伴う営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

③当連結会計年度より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取り扱い」（実務対応報告第18号）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これに伴う営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	14,325	15,833
有価証券	253	257
営業投資有価証券	5,463	6,153
短期貸付金	900	—
前払費用	259	236
未収入金	519	3,821
未収委託者報酬	463	574
未収投資顧問料	2,141	4,666
預け金	711	714
繰延税金資産	57	250
その他	810	667
流動資産計	25,907	33,176
固定資産		
有形固定資産	690	650
無形固定資産		
のれん	20,544	21,885
その他	151	173
無形固定資産合計	20,696	22,058
投資その他の資産		
投資有価証券	13,225	16,863
差入保証金	847	633
繰延税金資産	207	516
その他	47	158
投資その他の資産合計	14,328	18,171
固定資産計	35,716	40,880
資産合計	61,624	74,056

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	107	2,506
1年内返済予定の長期借入金	2,000	2,000
未払手数料	344	437
その他未払金	640	1,613
未払法人税等	454	3,235
賞与引当金	26	323
繰延税金負債	54	201
その他	129	289
流動負債計	3,756	10,607
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	10,000	10,000
繰延税金負債	13	165
負ののれん	567	598
その他	64	63
固定負債計	15,646	15,828
特別法上の準備金		
証券取引責任準備金	—	0
金融商品取引責任準備金	0	—
特別法上の準備金合計	0	0
負債合計	19,403	26,435
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,404	12,144
資本剰余金	14,291	14,030
利益剰余金	18,540	21,685
自己株式	△4,438	△4,438
評価・換算差額等	△1,157	1,077
その他有価証券評価差額金	△1,342	40
為替換算調整勘定	185	1,037
新株予約権	81	45
少数株主持分	2,498	3,075
純資産合計	42,220	47,621
負債・純資産合計	61,624	74,056

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
営業収益	
委託者報酬	1,351
投資顧問料	5,949
営業投資有価証券評価損益	△647
その他営業収益	47
営業収益計	6,702
営業費用	1,195
一般管理費	6,547
営業損失(△)	△1,040
営業外収益	
受取配当金	172
受取利息	226
負ののれん償却額	77
為替差益	313
雑収入	50
営業外収益計	840
営業外費用	
支払利息	135
賃借料	58
雑損失	178
営業外費用計	372
経常損失(△)	△573
特別利益	
投資有価証券売却益	397
過年度損益修正益	120
賞与引当金戻入額	132
その他	14
特別利益計	663
特別損失	
固定資産売却損	6
固定資産除却損	10
投資有価証券売却損	27
投資有価証券評価損	214
過年度損益修正損	133
特別損失計	393
税金等調整前四半期純損失(△)	△302
法人税、住民税及び事業税	478
過年度法人税等	△2
法人税等調整額	298
少数株主利益	76
四半期純損失(△)	△1,152

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)、並びに同規則第61条及び第82条の規定に基づき、当社グループの主たる事業である投信投資顧問業を営む会社の連結財務諸表に適用される「金融商品取引業に関する内閣府令」(平成19年総理府令第52号)に準拠して作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

希望退職者の募集について

当社は、平成20年10月16日開催の取締役会において、当社の経営改革の一環として、希望退職者を募集することを決議いたしました。その主な内容は次のとおりであります。

(1) 希望退職者募集の目的

当社は、日本株運用の復活、投信ファンドの強化・拡大、アジア市場へ更に深く入り込むためのネットワークの強化の3点を目指し、経営資源を配分してまいりました。しかしながら、株式市場の要因等により運用資産残高が当期初より大きく減少している中、来期以降、収益を確保することを可能にする事業体質とコスト構造の実現を目的とし、希望退職者募集を含む経営改革策を断行することとしたものであります。

(2) 募集対象者:平成20年10月20日現在、当社及び連結子会社のうちスパークス・アセット・マネジメント株式会社、スパークス証券株式会社、スパークス・キャピタル・パートナーズ株式会社に在籍する満59歳未満の正社員

(3) 募集人数:20名程度

(4) 募集期間:平成20年10月20日～平成20年11月14日

(5) 退職日:平成21年3月31日

(6) 重要な特約等:退職者に対しては、特例的な退職優遇制度を提供し、会社都合扱い退職として取扱い、再就職支援を行います。

(7) 希望退職による損失の見込額:早期退職する社員への優遇制度適用等のため、平成21年3月期において約1億円の特別損失を計上する見込みです。

6. その他の情報

運用資産残高の状況

以下の表は、当社グループ（スパークス・アセット社、コスモ社、PMA社）の当期運用資産残高の状況を示したものです。

以下、数値は当社の持分に係らず運用資産残高の100%を記載しておりますが、当社以外の出資者持分については少数株主損益が計上されます。当第2四半期末における当社の持分が100%未満のグループ会社の当社持分は以下のとおりであります。

会社名	当社持分
コスモ社	67.9%
SPARX Value GP, LLC	70.0%

■会社別の内訳

①当第2四半期連結会計期間の月末運用資産残高の推移

(単位：億円)

会社名	平成20年7月	平成20年8月	平成20年9月
スパークス・アセット社	6,870	6,405	5,643
コスモ社	3,053	2,730	2,524
PMA社	2,653	2,612	2,410
合計	12,576	11,748	10,578

(注) 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。なお、上記金額は、各月末時点における実際の運用に係る金額のみではなく、コミットメント・ベース等により契約上運用報酬の算定の対象となる金額がある場合は、これを含め表示しております。

②平均運用資産残高の推移

(単位：億円)

会社名	平成20年4-9月	平成19年4-9月	平成19年4月-平成20年3月
スパークス・アセット社	6,819	11,786	10,160
コスモ社	2,960	3,542	3,512
PMA社	2,589	2,355	2,524
平均運用資産残高	12,368	17,684	16,197

(注) 1. 各期の月末運用資産残高の単純平均であります。
 2. 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。なお、上記金額は、各月末時点における実際の運用に係る金額のみではなく、コミットメント・ベース等により契約上運用報酬の算定の対象となる金額がある場合は、これを含め表示しております。

③成功報酬付期末運用資産残高及び比率の推移

会社名		平成20年9月	平成19年9月	平成20年3月
スパークス・アセット社	残高(億円)	2,718	5,402	3,607
	比率(%)	48.2	50.4	50.4
コスモ社	残高(億円)	2,190	3,338	2,553
	比率(%)	86.8	85.4	87.2
PMA社	残高(億円)	1,948	2,317	1,922
	比率(%)	80.9	100.0	75.1
合計	残高(億円)	6,857	11,058	8,082
	比率(%)	64.8	65.2	63.9

(注) 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。なお、上記の金額は、各月末時点における実際の運用に係る金額のみではなく、コミットメント・ベース等により契約上運用報酬の算定の対象となる金額がある場合は、これを含め表示しております。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (百万円)
I 営業収益	12,973
II 営業費用	1,927
III 販売費及び一般管理費	9,497
営業利益	1,549
IV 営業外収益	774
V 営業外費用	442
経常利益	1,881
VI 特別利益	358
VII 特別損失	327
税金等調整前中間純利益	1,912
税金費用	1,210
少数株主利益	587
中間純利益	113